

呪いの望遠鏡

20250113

エリー



—

目次

本文	1
あとがき	3

本文

俺と剛は、高校1年生。呪いの望遠鏡の話を知り、放課後に理科室に忍び込んだ。望遠鏡を覗くと、扉のちょうつがいの人差し指を挟む映像が見えた。嫌だが、怖いというほどではない。

剛が聞いてきた。

「何が見えたの？」

「扉に指を挟む映像」

　　パリン！

　　剛がピーカーを落とす。

「やるまで永遠にその映像を見るよ」

「そんだけ？」

　　映像が見えるくらい、大したことない。

「俺、トイレ行きてえ」

　　剛と別れ、個室に入る。

　　扉を閉めた瞬間、指を挟む映像が脳内に流れる。

　　どうやら、ちょうつがいがあると反応するらしい。

　　3日経っても続いている。

　　だんだん気持ちが沈んでくる。

　　異変を察した担任の佐和子先生に呼び出され、職員室に行く。

　　佐和子先生は言った。

「指ではなく、紙を挟むイメージに書き換えたら？」

　　ハッとすする。

　　指を挟む映像が浮かんだ瞬間、紙を挟む映像に書き換えてみる。

　　次第に映像が浮かばなくなる。

　　すっかり忘れた頃、授業中に教科書を手に取る。紙でざっくり人差し指を切る映像が浮かぶ。

「うわああ」

　　佐和子先生が駆け寄る。

「何が見えたの？」

「紙で人差し指をざっくり切る映像です」

　　教室がざわめく。

「指をニンジンにおきかえるのよ！」

剛が駆け寄る。

「ダメだ。紙で指を切れ！」

コピー用紙を渡されるが、どうしても怖くて切ることができない。

ニンジンを切るところをイメージする。

次の瞬間、喉にニンジンを詰まらせ死ぬ姿が.....。

あとがき

ちょうつがいの人差し指を挟む映像が繰り返し流れる。

紙を挟めと言われて書き換えた。

人差し指を紙でざっくり切る映像が繰り返し流れる。

この流れは本当。

実話をホラーのネタにできると言われて書いたもの。

呪いの望遠鏡は創作。

呪いの望遠鏡20250113

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
